

《 香 住 区 》

開催日：令和6年10月11日（金） 場所：香住文化会館

一般参加者数：52名

■香住病院の照明について■

【質問者】

香住病院の駐車場が整備され、車が多く駐車できるようになったが、香住病院の入口に照明がなく、非常に暗いということで雨や雪が降ると入りにくい。駐車場の中も照明がほとんどない状態で、防犯的にも照明が必要ではないかと思っている。

【病院事業管理者】

町道山手若松線から病院に入る所は、以前からいろいろとお聞きをしております、所管の建設課等と協議しまして、検討させていただきたいと思います。駐車場につきましては、これは香住病院の施設ですので、香住病院の方で検討させていただきたいと思います。

■森住宅の駐車場について■

【質問者】

森住宅の駐車場は、車の駐車は可能なのか。

【建設課長】

森の住宅については、駐車場の整備を当初からしておりませんので、町として駐車場のご用意はしていないということになります。

【質問者】

実際は、住宅の皆さんが駐車をされているという状態である。ただ火災等の有事の際に、緊急車両が入れなくなって、非常に困ることが目に見えている。

【町長】

森住宅の住民の駐車場を、町がお世話をするということになりますと、香美町で車をお持ちの方々の駐車場のお世話をすべてしなければならないということになります。車庫証明書のことも考えれば、やはり車の駐車場というのは、それぞれ購入される方、所有される方がご自分の努力で確保に努めていただくのが、本来のあり方だと思います。

■地方創生の交付金について■

【質問者】

鳥取県から石破総理大臣が出られ、地方創生を強く推進するということで、交付税も今の

倍ぐらい増やされるようなことを言っておられる。新たに追加される交付税を、全体にばらまくとあまり効果がない感じがするので、香美町の景気を牽引する産業の方に重点的に回すだとか、メリハリのある使い方を、今後考えていただきたい。

【町長】

石破総理のご発言は、地方交付税を現行の倍ということではなく、ここ近年ありました地方創生臨時交付金を倍ぐらいに引き上げたいということでございます。ただ我々のような脆弱な財政を持っている自治体には大変ありがたいことで、どの産業に絞ってテコ入れをするということは明確には申し上げられませんが、それぞれ福祉だとか教育だとか産業振興、先ほど説明した様々な分野に一定程度の町の財源を使わなくても、国の臨時交付金を活用できるというのは有利な部分でございます。ご質問にありましたように、産業支援とか産業の育成のために、今まで以上にできることになりますから、役場職員と知恵を絞って、重点的にその交付金を充てるような産業を決めればいいのか、満遍なく全体的に底上げをするのがいいのかということもしっかりと議論しながら進めていきたいと思います。

■香住病院のMR I の設置について■

【質問者】

香住病院において、令和5年度に、透析室、リハビリ室、カメラ室を東館に新築で完成されたが、それに合わせてMR I の設置の考えはあるのか。

【病院事業管理者】

MR I の導入については、20年ぐらい前かと思いますが、一度検討はされたということで、その当時、かなり高額なことと、スペースや事務的な問題で、断念したということは聞いております。東館については、余裕のあるスペースはございませんので、MR I を導入しようとするれば、別の建物ということになりますし、そこにまた人員を配置し、それから高額な医療機器の購入ということで、香住病院で想定しますと、そんなに件数はないと思いますので、やはり収支の面を考えても非常に厳しい状況にあるということで、導入ということは考えておりません。ただ、豊岡病院とMR I の委託契約を締結しておりまして、香住病院でMR I が必要な方については、豊岡病院に予約をしてスムーズにMR I が撮影できるようなシステムは構築をしております。MR I でもいろいろと機種はありますが、1億、2億はするということを聞いております。MR I については放射線と同様で、特殊な金属をはめ込まなければなりませんし、放射線が発生しますので、放射線区域でございますので、建物にもかなりの費用がかかります。またスタッフとしましては、放射線技師、今の人員では対応が難しくなりますので、新たに1名配置が必要ということで、いろいろ経費の面、スペースの面から考えましても、導入というのは非常に厳しい状況にあると考えています。

■駅前区の狭間地域の浸水対策について■

【質問者】

駅前区の狭間地域が頻繁に浸水する。今年の区長会の国県予算の要望の中にも、矢田川河口の浚渫、立木の除去等をお願いした。新しい橋に架け替わり、旧橋も撤去すれば、水の流れが良くなると思うが、県の方と樋門点検をする中で、老朽化もあり、水の流れも悪いところが見受けられ、亀居井堰から流れてきた水が内水氾濫しても、狭間にはポンプアップする施設がないので、住んでいる駅前区の狭間地域の方にとっては、やはり安心安全な暮らしが確保できていないということで、何らかの手当を早急にしていきたい。

【建設課長】

昨年も区長の方から要望をいただき、その後に現場を確認させていただきました。樋門のところにもかなり木が覆いかぶさっていて、見えにくいということで、早速県の方をお願いをして、切っていただきました。あと、樋門の操作で、水位の目盛りが、上流から見えるけど、駅前から見えないというようなことがあったりして、できることは要望させていただいて、美の谷川の改修の中で、セットで検討するとのことでした。その中でポンプの事もご要望を文書の方でいただいておりますが、樋門の管理をまずはお願いしたいということです。

【町長】

県の対応策については、建設課を通じていろいろと示していただいておりますし、現地の説明会もさせていただいております。狭間地域も対岸の油良・間室の地域と同じように、様々な対応を私の方からもお願いをさせていただきます。樋門の老朽化についても、新たなものへの更新等、そういうことはまたお願いをしたいと思いますので、狭間地域の一番大事な部分ということで、引き続き区の要望を続けていただければありがたいと思います。

■統合後の小学校の様子について■

【質問者】

小学校ですが、佐津・奥佐津が香住小学校へ、2年後には他の小学校も香住統合ということだが、子どもたちの様子はどうか。あと通学のこと、バスが云々という話もあったみたいだが、機嫌よく通学しているのか。それから空いた小学校の校舎の活用ということも何か検討をされているのか。

【教育長】

小学校の方は、今現在、非常に落ち着いています。予期しなかったのは、車酔いの子が4月、5月たくさんいまして、連鎖反応みたいにして10人を超える子どもが車酔いをするということで、すぐに対応し、ルートを変更しました。それから学校に関しては、スーパーチャレンジで集まってずっとここ何年か動いてきており、非常にびっくりするぐらいスムー

ズに溶け込んだと思っています。学期ごとにカウンセリングというか、困ったことがないかを香住小学校の方は、特に佐津・奥佐津の子に時間をかけて行っています。基本線は出して向かうのですが、予期せぬことがやはりありますので、その都度検討して進めていく必要があると思っています。

【教育総務課長】

香住区では3年前に香住第二中学校が、この春に奥佐津小学校と佐津小学校が廃校になったわけですが、利活用については関係課で検討委員会を作り、その中でどのような形にしていくかを検討しています。まずは他の公共施設で使えないかどうか、あと地元の意向とかそういったものをまずお聞きした上で、使い道が特にないということであれば、広く民間であったりそういったところに募集をかけたりとかいうような形で利活用方法を決めていくということにしております。香住第二中学校については、体育館は社会体育で使っていますが、校舎についてはまだ決定していません。奥佐津も決定していませんし、佐津は一部放課後児童クラブとして引き続き使っておりますけれども、まだこれからといった状況です。

■敬老会助成金について■

【質問者】

敬老会ですが、助成をいただき本当にありがたいが、諸物価がかなり高騰しており、可能であれば、少し上げていただきたい。

【福祉課長】

現状1人当たり700円ですが、福祉課の方には直接個々の区単位での相談はございます。一つの区の要望ではなくて連合自治会なり全体の要望になっていくようであれば、また課の方でも検討させていただきます。